



平成18年3月25日  
第25号発行  
千葉県漁業士会銚子支部  
(事務局・銚子水産事務所)

## 漁業士認定式

全 域

## 新青年漁業士の紹介①

さる平成18年1月17日に千葉市にある千葉県中小企業会館において「平成17年度漁業士認定式」が開催され、県内全体で新たに5名の青年漁業士および2名の女性漁業士が認定されました。

銚子支部には3名の青年漁業士が加わり、また1名の青年漁業士が指導漁業士としてあらためて認定されました。

今回の認定により銚子支部は、指導漁業士が7名、青年漁業士が12名、女性漁業士が3名、合計22名となり、県内最多の所属人数となっています。

このところ明るい話題の少ない水産業界ですが、新たに認定された漁業士の皆さんが加わることで、浜の活気が取り戻せるよう漁業士会の活躍に期待したいと思います。



認定を受けた漁業士の皆さん

それではさっそく、新青年漁業士を①氏名、②所属漁協、③船名、④主な漁業種類、⑤コメントの順に紹介いたします。

- ①鈴木大作(すずき だいさく)
- ②海匠漁業協同組合(青年部貝けた部会副部長)
- ③第1山ヨ丸
- ④小型底曳網(貝けた):サトウガイ、ハマグリ
- ⑤貝けた漁業について、青年部を主体とした共同出荷の継続・拡大、および資源管理型漁業の推進と漁獲物の付加価値向上に積極的に取り組むことで、浜値の向上を図って行きたいと思いを。また、釣り漁業や延縄による経営の多角化についても検討していきたいと思いを。



鈴木大作青年漁業士

## 新青年漁業士の紹介②

全 域

## 新青年漁業士の紹介③

- ①遠藤勝信(えんどう かつのぶ)
- ②海匠漁業協同組合(青年部刺網部会部長)
- ③第3不動丸
- ④固定式刺網:ヒラメ、ホウボウ等
- ⑤漁獲量の減少や魚価の低迷による漁業収入の低下、そして、燃料費の高騰による経費の増大により漁業経営は年々厳しくなっていると思いを。

海匠漁協青年部刺網部会の部長として、こういった問題の解決のために、魚の付加価値向上や販売方法の検討に取り組み、将来「漁業をやっていて良かった」と言えるよう頑張っていきたいです。



遠藤勝信青年漁業士

- ①伊藤和美(いとう かつみ)
- ②海匠漁業協同組合(青年部しらうお部会部長)
- ③第3伊藤丸
- ④船曳網:シラウオ
- ⑤近年のシラウオの不漁により、このままでは漁業経営が困難になる一方です。

これまでの経営についてあらゆる角度から見直しを行い、組合、船団が一丸となって考え、取り組んで行かなくてはならないと思いを。

まずは経費節減のための新しい漁具・漁法や技術を積極的に取り入れていきたいと思いを。



伊藤和美青年漁業士

## 新指導漁業士の紹介

全 域

## 新漁業士認定祝賀会の開催

続いて新指導漁業士の伊藤重一さんです。

伊藤さんは海匠漁協に所属し、シラウオ船曳網、固定式刺網漁業に従事していますが、昭和58年から平成16年まで同漁協青年部シラウオ部会の部長を務めるなど、これまでの活動実績を評価され、青年漁業士から指導漁業士としてあらためて認定されました。

今後の漁業について、「新しい漁具や漁法があれば積極的に取り入れて収益の増大や安定を図り、地域の漁業者にそれを広めて行きたい。また、漁獲量を増やすことを考えがちな漁業者も発想を転換して、品質の向上による付加価値の向上や、市況をにらんだ計画的な漁獲による価格の維持、そして消費者との交流を考えていかななくてはならない」と、とても頼もしい考えをお持ちのようです。



伊藤重一 指導漁業士

平成18年2月25日、銚子支部主催による漁業士認定祝賀会が開催されました。

祝賀会には銚子市漁協の堀井康司組合長、旭市農水産課の向後信明さん、(独)水産総合研究センター水産工学研究所の高木儀昌室長、銚子地区漁協女性連の金野勝江会長といった方々が来賓としてご出席され、お祝いの言葉をいただきました。

新漁業士は現支部会員との懇親を深め、これからの漁業について熱く語り合いました。

## 千葉県水産業青壮年女性活動実績発表大会の開催

前記の漁業士認定式に引き続き「第52回千葉県水産業青壮年女性活動実績発表大会」が開催されました。

銚子・九十九里地区からは、海匠漁協所属の遠藤勝信新青年漁業士が「漁協青年部を結成して」というタイトルで海匠漁協青年部の三部会(刺網・シラウオ・貝けた)が共同で取り組んだ漁獲物のイベント販売についてを中心に発表を行いました。

漁獲物の付加価値向上を活動の目標とする同青年部は、「まず、地元産の魚介類を地元の消費者に知ってもらい、消費者の声を直に聞くことが第一歩である」として、平成17年11月に開催された「旭市市民祭り」において試験的な販売に取り組むことになりました。(※)

全 域

(※)

ところが、まるっきり初めての取り組みであったため、販売用にストックしておいた魚介類が死んでしまい、また、思ったよりも売れ行きが良くないこと等、苦勞のほうが多く、販売の難しさを痛感させられました。

しかし、「どうすれば消費者が魚を買いやすいか」などの課題点が整理され、また、これまで交流の少なかった三部会が同じ目的を持ち、ともに取り組むことで絆が深まるという収穫もありました。

遠藤さんの発表は残念ながら千葉県代表には選出されませんでしたでしたが、「後継者世代が中心となって地域漁業の発展を目指す取り組みに大いに期待する」との講評を受けました。

なお、各発表課題および表彰結果は次のとおりで、優秀発表の2課題が千葉県代表として3月8～9日に開催された「第11回全国青年・女性漁業者交流大会」にて発表を行いました。

### ◎優秀発表

「とれたて千葉の魚で女子高生に魚食普及」

千葉県漁業士会館山支部 石井智晃

「消費者のみなさんとの交流をつうじて」

千葉県漁協女性部連絡協議会 鈴木敏子

### ○優良発表

「漁協青年部を結成して」

海匠漁業協同組合 遠藤勝信

「元気に育てチビアワビ！放流効果は方法次第」

新勝浦市漁業協同組合 吉野次郎



審査員からの質問に答える遠藤さん



優良発表として表彰される遠藤さん

ご意見・ご感想・その他掲載を希望する情報がありましたら銚子水産事務所改良普及課までご連絡ください。

連絡先 電話:0479-22-8397 FAX:0479-22-9167